

2013年6月4日

愛知製鋼株式会社

刈谷工場正門付近改修工事が完工

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、弊社刈谷工場を進めてきた、正門周りの景観向上および境界塀のフェンス化耐震対策などの一連の改修工事が無事完工し、6月4日（火）に竣工式を執り行なった。

本工事は、トヨタグループの1社として誕生した弊社創業の地であることを再認識するとともに、世界ナンバーワンのステンレス工場にふさわしい、安全・景観・環境に配慮した工場を目指すこと、併せて、地域に根ざした工場として、地域の祭りなどイベントに活用いただく際の利便性向上なども改修目的の一つとして進めてきたものである。

竣工式は、刈谷市副市長の鈴木直樹様をはじめ、隣接するトヨタグループの代表者および施工関係者をご来賓に迎え、社内関係者も含め約50名が参列して実施した。

改修工事の具体的内容としては、次のとおり。

- ①工場の東・南・西側を囲っていた古い「万代塀」を撤去しフェンス化（地震による倒壊危険排除）
- ②保安・厚生施設[レセプションオフィス]の新築（地域イベント実施時に開放）
- ③ステンレス形鋼を生産する刈谷工場の特徴を活かした、ウェルカムゲート設置などの景観向上
- ④環境に配慮した設備の導入（風力＋太陽光による街頭照明、PHV充電設備、緑化施策）
- ⑤弊社創業の地に相応しい記念碑の設置
- ⑥工場事務本館に歴史および製品を紹介するショールームの設置（お取引先様へのPR）



工事の完工を記念して行なった除幕式



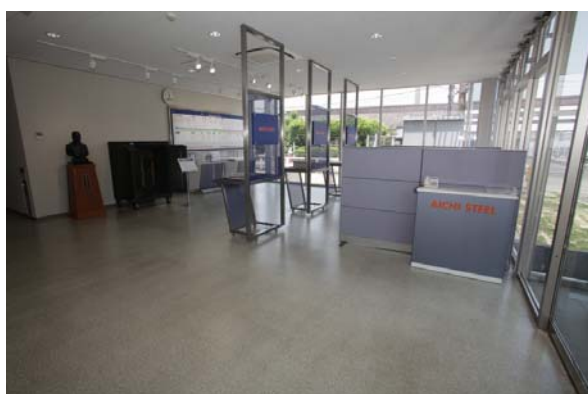
一新した刈谷工場の入口（正門）



工事完工を記念した記念碑



旧事務本館跡地を緑化（奥に見えるのが新事務所）



新事務所に新設したショールーム



当社の歴史的資産も展示